

AES-100

取扱・取付説明書

6S0901

このたびは、セキュリティユニットAES-100をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、操作手順をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。
製品保証はメインとなる機器の保証規定に準じます。

操作手順

本機は併用する弊社エンジンスターターのリモコンで、警戒開始・警戒解除の操作ができます。警戒中は、ドアの開放・トランク(ボンネット)の開放・衝撃(強弱2段階)・イグニッションONを検知して、警告・警報を行います。また、弱い衝撃などの警告動作をOFFにして警戒することができます。(警戒モード2)

補足

- イグニッションONはACC(アクセサリ)ONを検知しています。
- 警報モード1は全てのセンサーを警戒状態にします。
- 警報モード2は弱い衝撃をOFFにして警戒するモードです。

ご注意

車を使用しない状態が14日間以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。スリープ機能が働くと、警戒を解除します。スリープ機能はエンジンを始動すると解除できます。

警戒操作

弊社エンジンスターターリモコンのドアロック操作で警戒を開始できます。警戒開始操作を受け付けると、車幅灯(スモールランプ)が1回点滅します。
VE-E420R/E430R/E520R/E530R/E720Rのリモコンで警戒を開始する場合は、セキュリティモードに設定してから操作してください。

ご注意

エンジンキーでアイドリング中は、本機警戒開始・ドアロックができません。

補足

- 警戒中にエンジンスターターでエンジンを始動すると、警戒モード2で警戒を継続します。アイドリング停止後は、エンジン始動前の警戒モードになります。
- エンジンスターターによるアイドリング中や、ターボタイマー動作中に警戒開始操作を行った場合は、アイドリング終了後に警戒を開始します。
- ドアロック操作方法について詳しくは、エンジンスターター取扱説明書をご覧ください。
VE-E420R/E430R/E520R/E530R/E720Rは、「セキュリティオプションを使う」をご覧ください。
- ドアロック操作では、警戒モード1で警戒を開始します。警戒モード2で警戒する場合は、スタンバイ時間中にもう一度ドアロック操作を行ってください。
- エンジンスターターに別売A-17SF：キーレスエントリー線を接続してある場合は、ドアロックとともに警戒を開始できます。
- セキュリティモードへの変更方法はエンジンスターター取扱説明書をご覧ください。
VE-E3/E26はセキュリティモードの設定がありません。ドアロック操作で警戒を開始できます。

警戒中の動作

警戒中は、車輛の衝撃(強弱2段階)・ドアの開放・トランク(ボンネット)の開放・イグニッションON・傾斜を検知すると警告・警報動作を行います。
●警報動作・・・ドア(トランク/ボンネット)の開放、強い衝撃、傾斜の検知
車輛の警告音(クラクション)を30秒間鳴らし、車幅灯(スモールランプ)が連続して点滅します。クラクションは断続音で鳴動します。
●警告動作・・・弱い衝撃の検知
車幅灯(スモールランプ)が1回点滅します。クラクションは鳴りません。

補足

- トランクの開放を検知する場合は、トランクセンサの接続が必要です。
- ボンネットの開放を検知する場合は、別売A-29SF：ボンネットスイッチの接続が必要です。
- トランクとボンネット両方の検知をする場合は、別売A-33SF：リレーユニットが必要です。
- 傾斜を検知する場合は、別売A-28SF：電子傾斜センサーの接続が必要です。電子傾斜センサーは車輛の傾き(傾斜角1度以上)を検知すると警報します。

警戒解除操作

弊社エンジンスターターリモコンのドアアンロック操作で警戒を解除できます。警戒解除操作を受け付けると、車幅灯(スモールランプ)が2回点滅します。

補足

- ドアアンロック操作方法について詳しくは、エンジンスターター取扱説明書をご覧ください。
- エンジンスターターに別売A-17SF：キーレスエントリー線を接続してある場合は、ドアアンロックとともに警戒を解除できます。

警報停止操作

警報中はドアロック操作(警戒解除操作)で警報が停止できます。

緊急解除操作手順

万が一、警戒状態でリモコンの電池切れまたは故障の場合は、次の手順で警戒を解除することができます。

緊急解除スイッチのエントリーボタンを押しながら、エンジンキーをON(ACC)まで廻す



警戒を解除します。

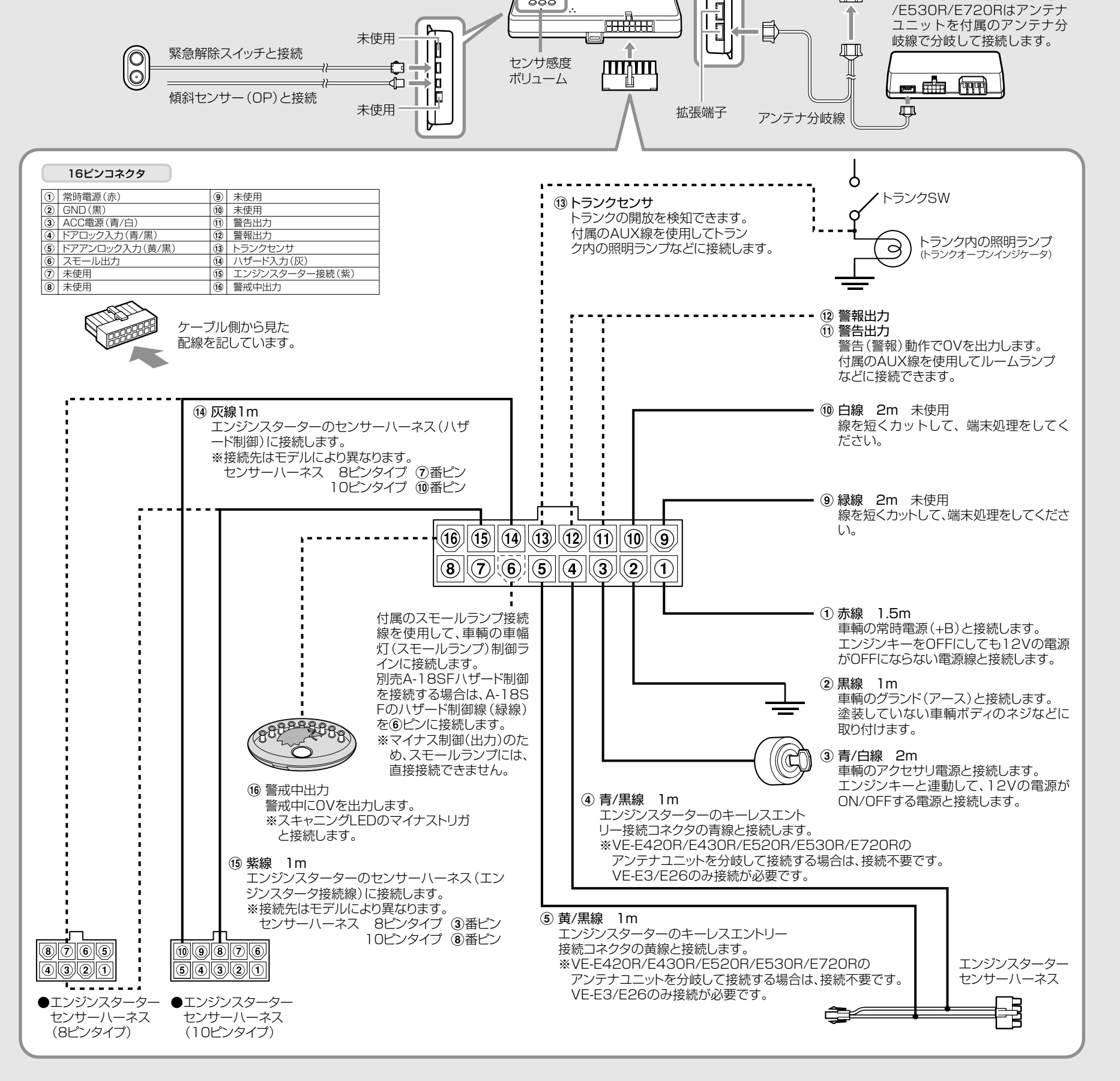
基本接続図

■併用する弊社エンジンスターターの機種選択

併用するエンジンスターターの機種を、セキュリティユニット裏面のディップスイッチ1番、2番で選択します。

	1番	2番	3番	4番
VE-E420R/E430R/E520R/E530R/E720R	ON	OFF	OFF	—
VE-E3/E26	OFF	ON	OFF	—

※ディップスイッチ4番は、トランクセンサの接続先によって設定が異なります。



取り付けの前に(安全上のご注意)

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付け・お使いください。
ここに記載された注意事項は、取り付け・接続作業をする方とお客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

⚠ **警告：** 警告を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性があります。

⚠ **注意：** 注意を無視した取り扱いをすると、傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

絵表示について

⚠ △ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。

🚫 ○ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

🛑 ● 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

警告

❗ 安全に作業をしていただくため、パーキングブレーキを必ずかけ、バッテリーのマイナス端子を外して作業を行ってください。

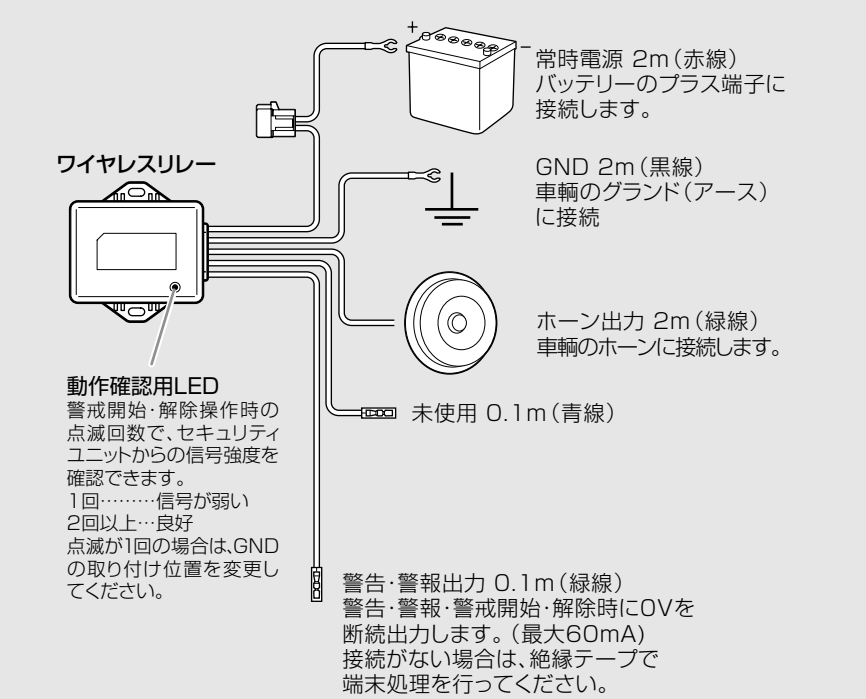
❗ 取り付け作業は、必ずエンジンがさめている状態のときに行ってください。
火傷する恐れがあります。

🚫 エアバックシステムの配線およびコネクターには触れないでください。
エアバックシステムが異常になることがあります。

❗ 各ユニットの取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付けてください。

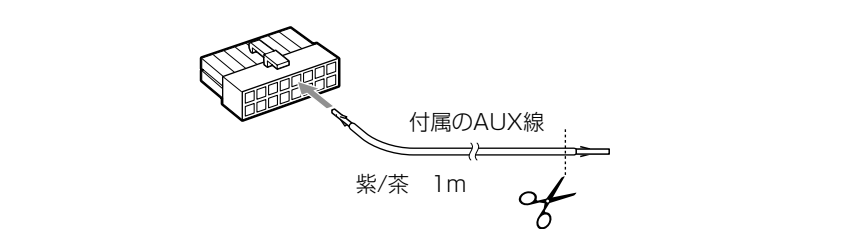
🚫 コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。
故障や火災の原因となります。

エンジンルーム取付部品



AUX線の使いかた

付属のAUX線は両端の端子のいずれかを16ピンコネクタに差し込んでご使用ください。片側の端子は切断して車輛の信号線などにエレクトロタップを使って接続します。

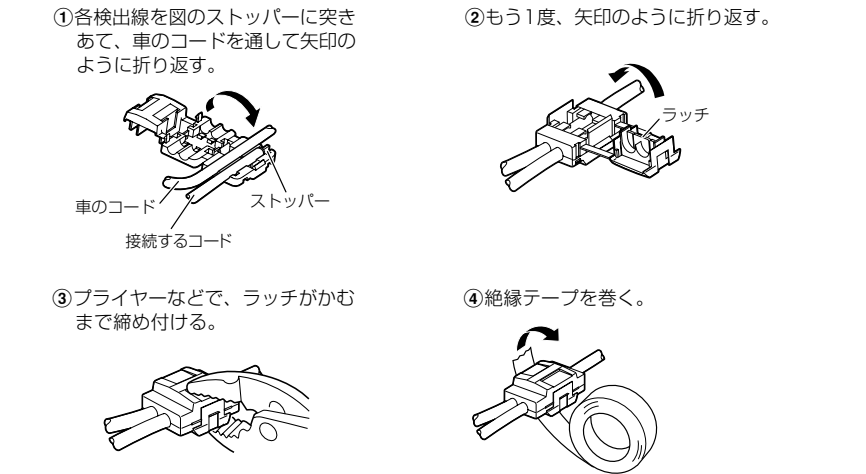


補足

- トランクセンサとスキャンニングLEDなど2カ所に接続する場合は、AUX線を適当な部分でカットして使用します。長さが足りない場合は、適当な電線で延長してください。
 - AUX線は1本付属していますが、足りない場合は、別売：A-60オルタネータ線をご使用ください。
- ※ オルタネータ線1本で1カ所の接続ができます。2カ所に接続する場合は、2本必要となります。

エレクトロタップの使いかた

各検出線は以下の手順で接続してください。



※ 接続された箇所(エレクトロタップ部)は、ショートや振動などにより、車輛にトラブルを起こす原因となることがあります。必ず絶縁テープでテープングしてください。

仕様	電源電圧 動作温度範囲 消費電流 外形寸法 重量	12V車専用 セキュリティユニット：-40℃～85℃ ワイヤレスリレー：-40℃～125℃ 警戒時 平均5.6mA 待機時 平均3.6mA セキュリティユニット：126(W)×19(H)×72(D)mm(突起部含まず) ワイヤレスリレー：70(W)×25(H)×54(D)mm(突起部含まず) セキュリティユニット：85.9g ワイヤレスリレー：163.5g(ケーブル含む)
セット内容	●セキュリティユニット(1) ●ワイヤレスリレー(1) ●リレー(1) ●アンテナ分岐線(1) ●スモールランプ接続(灰)線(1) ●AUX(紫/茶)線(1) ●16ピンハーネス(1) ●エレクトロタップ(大1、小7) ●コードクリップ(1) ●タイラップ(大2、中1、小1) ●両面テープ(1) ●セキュリティステッカー(1) ●調整ドライバー(1) ●取扱・取付説明書(本書)	

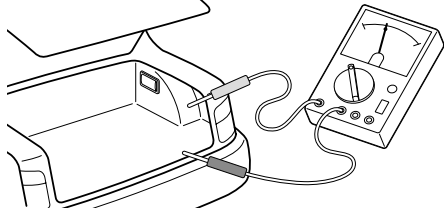
トランクセンサの接続

トランク開放を検知する場合に接続します。
※一部の車輦では接続できません。

- トランクセンサは、以下の信号線に接続できます。
- トランク内の照明ランプ
 - メーターパネルのトランクオープンインジケータ

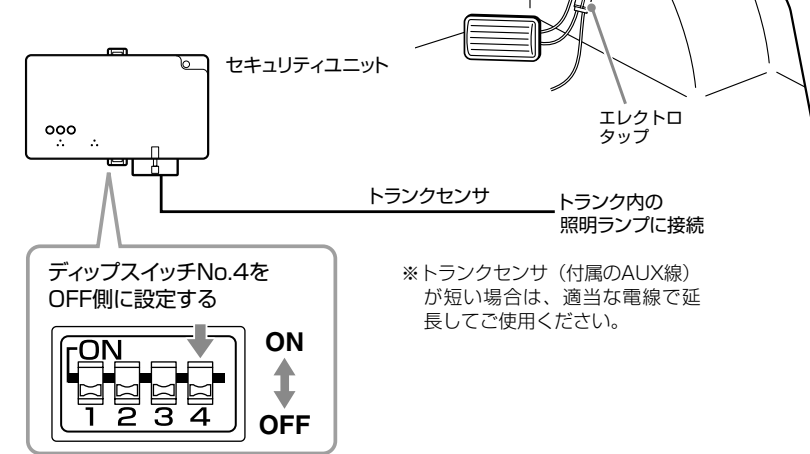
1 トランクセンサの接続先を探す

- ※接続先はサーキットテスターで確認してください。
- ※接続は市販のエレクトロタップなどを使用して、車輦の信号線と確実に接続してください。また、接続後は接続部を必ず絶縁テープなどでテーピングしてください。



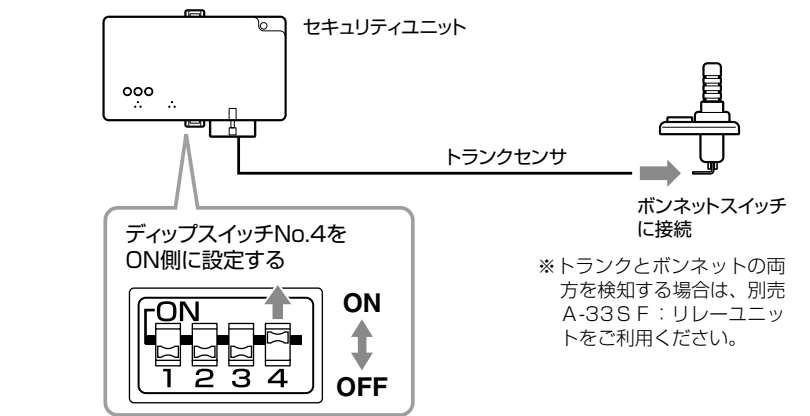
開いたときに12Vになる信号線に接続する場合
(トランク内の照明ランプに接続する場合)

※閉じたときに0V、開いたときに12Vになっていることを確認してください。閉じたときに12V、開いたときに0Vになる場合は「開いたときに0Vになる信号線に接続する場合」の接続を参照してください。



開いたときに0Vになる信号線に接続する場合(別売ボンネットスイッチ：A-29SFを使って、ボンネット検知をする場合など)

※閉じたときに12V、開いたときに0V～1.5Vになっていることを確認してください。閉じたときに0V～1.5V、開いたときに12Vになる場合は「開いたときに12Vになる信号線に接続する場合」の接続を参照してください。

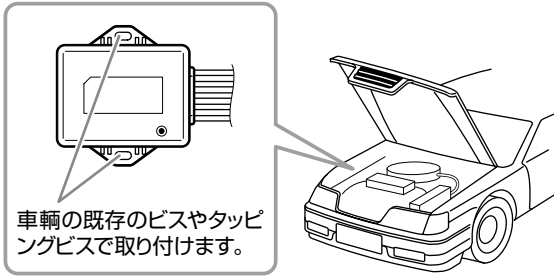


【ご注意】
機能設定「トランク/ボンネット選択」を、ボンネットへの変更が必要です。

ワイヤレスリレーの取り付け

ワイヤレスリレーはエンジンルームの既存のビスやタッピングビスを使って取り付けます。以下の点に注意して、取り付け場所を選定してください。

- 雨(水)が直接かからない場所
- エンジンの熱の影響を受けにくい場所
- 駆動部(ファンベルトなど)から離れた場所

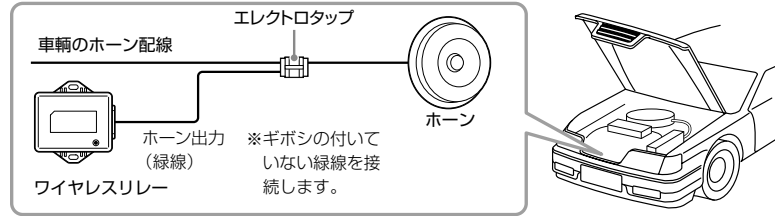


弊社セパレートレーダー探知機との併用の場合

セパレートレーダー探知機のGND位置によっては、データ伝送がうまくいかないことがあります。併用の場合でこのような症状のときは、ワイヤレスリレーまたはセパレートレーダー探知機のGND位置を変えてください。

ホーン出力の接続

ワイヤレスリレーユニットのホーン出力(緑線)を、車輦のホーン配線にエレクトロタップを使って接続します。



セキュリティユニットの取り付け

ボディ、ウィンドウへの衝撃を検知する衝撃センサ(強・弱2段階)とドア開時のわずかな気圧変化を検知する空気流ドアセンサを内蔵しています。セキュリティユニットの3つのボリュームでセンシングごとの感度調整ができます。

※誤作動がある場合などを除き、調整する必要はありません。

※すべての設定と動作の確認を終了するまでは、仮の取り付け(最終的な取り付け場所付近で仮止め)にしてください。仮の取り付け場所と最終の取り付け場所が大きく異なる場合は、衝撃センサや空気流ドアセンサの反応が異なり、誤作動の原因となります。

セキュリティユニットは、タイラップや両面テープなどを使用して、運転の妨げとならず、不審者に発見されにくいような場所にしっかりと固定し、タイラップやコードクリップを使用して配線処理をしてください。

1 市販の両面テープを使って仮取り付けした後、固定する

※走行中の振動で容易に外れないように付属のタイラップで、セキュリティユニットやハーネス類を固定します。

【ご注意】

- 次のような場所を、避けて取り付けてください。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
 - ・直射日光の当たる場所。
 - ・不安定な場所。

ワイヤレスリレーの動作確認

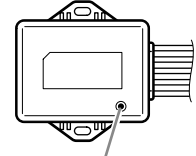
すべての接続を終了後、ワイヤレスリレーの動作を確認します。

■ワイヤレスリレー動作確認手順

エンジンスターターのリモコンで警戒開始操作を行い、そのときのワイヤレスリレー動作確認用LED(右図)の点滅回数を確認します。
※VE-E420R/E430R/E520R/E530R/E720Rで確認する場合は、リモコンをセキュリティモードに変更してから確認してください。

1回	信号が弱い
2回以上	良好

点滅が1回の場合は、GNDの取り付け位置を変更してください。



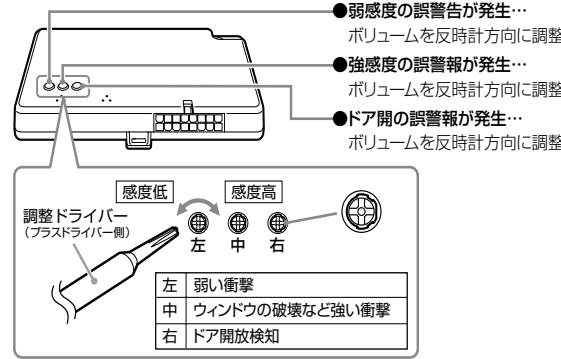
動作確認用LED
警戒開始・解除操作時の点滅回数で、セキュリティユニットからの信号強度を確認できます。

衝撃センサ・空気流センサの感度調整

通常使用では調整の必要はありません。

周囲の環境(幹線道路に面している駐車場や、地下駐車場の排気ファンの近くなど)により、誤作動が多い場合など調整をしてください。誤作動する警報項目のボリュームを反時計方向に回すと感度が低下します。誤作動がなくなる位置に調整してください。

※付属の調整ドライバーを使用して調整してください。

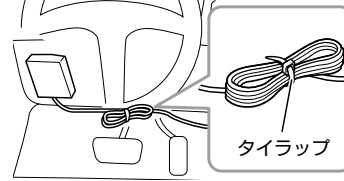


配線処理について

すべての取り付けや設定、調整が終わったら、以下の要領で配線処理をしてください。配線処理は、各ユニットの操作性やケーブル類の長さ、配線場所などを十分考慮して、位置や向きを決めてください。

■タイラップによる配線処理

ダッシュボード内を通るケーブル類は、既存のハーネスなどに付属のタイラップを用いて共締めします。余分なケーブルは束ねて共締めしてください。

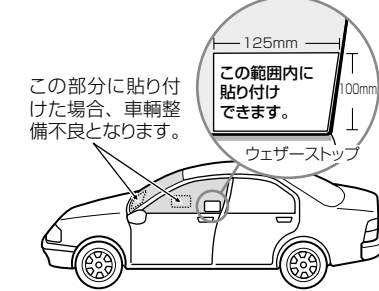


「セキュリティステッカー」の貼り付け

付属のセキュリティステッカーは車輦の側面ガラスまたはリアガラスに貼り付けることができます。

【ポイント】

- 車輦保安基準により、盗難防止用ステッカーの貼り付け位置が決まっています。
- ・前席側面ガラスには指定範囲内に限り、貼り付けできます。
- ・後席側面ガラス、リアガラスはお好きな場所に貼り付けできます。
- ・前面ガラスには貼り付けできません。



ステッカーを前席側面ガラスに貼り付ける場合はガラス開口部(ウェザー・ストップ、モールなどと重なる部分は除く)下縁から100mm以内で、後縁から125mm以内の範囲に貼り付けることができます。

- ・運転席側、助手席側とも、貼り付けできる範囲は同じです。
- ・指定範囲からはみ出さないように貼り付けてください。

お願い

車輦の引き渡し時には、お客様に接続・設定の状況と操作の説明を行ったうえで、本書をお渡しください。
長期間、車を使用しない場合は、車輦のバッテリー上がり的心配がありますので、セキュリティを解除しておくか、できるだけ定期的に走行して、充電を心がけるように説明してください。

お客様ご相談窓口

製品の取り付け、取り扱いなどで不明な点がございましたら、最寄りの弊社サービス部またはご相談窓口

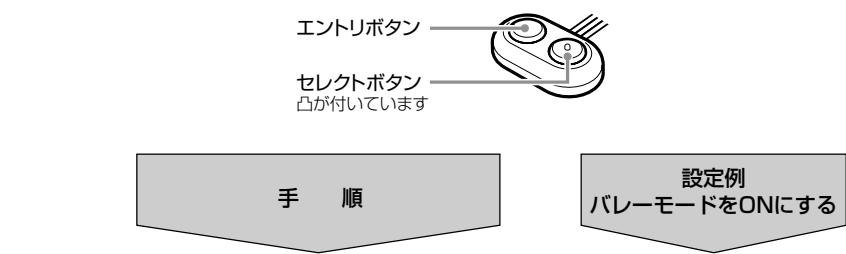
0564-45-6515

までお問い合わせください。

受付時間 10:00～18:00
(年末年始など、当社指定期間を除く)

機能設定

本機機能を下記の手順で設定します。



緊急解除スイッチのエントリボタンを押しながら、エンジンキーをACCまで回す。「ピーピー」が鳴り、設定項目を示す確認音「ピッ」が連続して鳴ります。

セレクトボタンを押して、設定項目を選択する。
セレクトボタンを押すごとに設定項目が進みます。
確認音で確認しながら設定項目を選択します。

設定項目	確認音(連続して鳴ります)
誤動作防止機能	ピッ
パレーモード設定	ピピッ
スタンバイ時間設定	ピピピッ
未使用	ピピピピッ
トランク/ボンネット選択	ビー
未使用	ビーピッ
ボイスユニット選択	ビーピピッ
未使用	ビーピピピッ
未使用	ビーピピピピッ
未使用	ビービー

エントリボタンを押して、設定項目を確定する。
※確認音が止まります。

セレクトボタンを押して、設定値を選択する。
設定音が1回鳴ります。
下表の設定音を確認しながら設定項目を選択します。

エントリボタンを押して、設定値を確定する。
完了音「ビー」が鳴ります。
ほかの設定項目を変更する場合は、セレクトボタンで設定項目を選択します。
設定を終了する場合は、エンジンキーをOFFにしてください。

設定項目	動作内容	設定値	設定音
誤動作防止機能	一定時間内に同じセンサが異常を3回検知すると、誤動作と判断し、警告・警報しません。 5分以上検知しない状態が続くと、通常の状態に復帰します。	誤動作防止ON	ピッ
		誤動作防止OFF	ピピッ
パレーモード設定	警戒操作を無効にします。お車の点検や整備の際にご使用ください。	パレーモードOFF	ピッ
		パレーモードON	ピピッ
スタンバイ時間設定	警戒操作から警戒を開始になるまでの時間を設定できます。	10秒 30秒 60秒 180秒	ピッ ピピッ ピピピッ ピピピピッ
トランク/ボンネット選択	トランクセンサを、開いたときに0Vになる信号線に接続する場合は、「ボンネット」を選択して下さい。	トランク ボンネット	ピッ ピピッ
ボイスユニット選択 別売J-04SF:ボイスユニット接続時	ボイスユニットの音色(ボイス)を選択します。	接続無し 日本語 英語 BEEP音	ピッ ピピッ ピピピッ ピピピピッ

は初期値を示しています。

本機はセンサにより異常を検知し、警告・警報を発する防犯装置で、イタズラや盗難を完全に防止できるものではありません。また、本機の動作の有無に関わらず発生した盗難事故、イタズラによる損害、被害に対しての責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。